

「第2回 診療所の在宅医療機能に関する調査」

【調査目的】 在宅医療の提供体制や患者の受入状況等と共に、在宅医療を受けている患者の状態や介護環境等の現状についても把握を行い、地域の実情や患者の状態等に応じた今後の在宅医療のあり方の検討に資する基礎資料とすることを目的とする。

【調査内容】 ・基本情報（診療科、提供する在宅医療の内容、併設施設等）
・在宅医療に従事する医師の状況、在宅療養患者の状況 等

【調査対象】 全国の在宅医療を実施している（在支診を含む）診療所 4,386施設

【調査主体】 日本医師会総合政策研究機構（日医総研）。実査を株式会社インテージ社に委託。

【調査結果の取り扱い】
日医総研ワーキングペーパーとして公表。

【調査方法】 アンケート調査

⇒「同封のアンケート用紙（郵送）」もしくは「インターネット上のアンケート」のどちらか片方をお選びください。

【回答期間】 郵送、インターネットともに **6月19日（月）まで**（郵送の場合は当日消印有効）

郵送での回答方法

- ① 同封のアンケート用紙にご回答いただき、
- ② 上記期日までに同封の返信用封筒に、アンケート用紙を入れてご投函ください。（切手は不要です）

※同封の封筒を使用しない場合は

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日医総研「第2回 診療所の在宅医療機能に関する調査」係
までお送りください。

インターネットでの回答方法

- ① 以下のURLにアクセスしてください。
- ② 開始後、下記のIDとパスワードを入力してください。

<アンケートURL>

<https://enq.netr.jp/iryuu/>



←スマホ・タブレットは
こちらからもアクセス
可能です



ID :

パスワード :

- ③ ②の入力後、アンケート開始となります。

【本調査に関する問合せ先】

E-mailアドレス:

zaitaku2017@jmari.med.or.jp

TEL 03-3942-6524

平日 10時～17時

日本医師会総合政策研究機構

調査担当 出口・野村

【インターネットでご回答時の不具合等に関するお問合せ先】

web-zaitaku2017@jmari.med.or.jp

※メールでのお問い合わせに対する返信は遅くなる
場合もございます。ご了承ください。

まずはじめに、貴院についておかがいします（2017年3月時点の状況）

Q1. 診療所名、及び「所在地」をご記入ください。
また、ご回答者の役職等をお選びください。

※基数表示のないものはn=1,527

診療所名		電話番号	
診療所所在地	() 都道府県 () 市区町村		
ご回答者の役職等 (複数可)	1. 管理者 75.7 2. 事務職員 22.1 3. 看護師等の医療職 7.5 NA 4.1		

Q2. 病床の有無について、あてはまるものをお選びください。(〇は1つ)

1. 有床 → SQ1へお進みください 10.4	2. 無床 → Q3へお進みください 88.3	NA 1.2
--------------------------	-------------------------	--------

SQ1. Q2で「有床」とお答え頂いた方への質問です。届出病床数をご記入ください。
該当がない場合は「0」をご記入ください。

n=159

届出病床の総数	16.3 床		
届出病床数の内訳	①一般病床 13.4 床	②医療療養病床 2.1 床	③介護療養病床 0.8 床
【再掲】ショートステイ (みなし含む)	0.7 床		

※病床数が無回答の2施設は集計から除外した

Q3. 貴院の「開設主体」を以下の中からお選びください。(〇は1つ)

1. 個人 38.7	2. 法人 58.0	3. その他 1.4	NA 1.8
------------	------------	------------	--------

Q4. 貴院の主たる「診療科」を以下の中から1つだけお選びください。(〇は1つ)

1. 内科 74.3	12. 脳神経外科 1.8
2. 呼吸器内科 0.5	13. 整形外科 3.1
3. 循環器内科 3.5	14. 形成外科 0.1
4. 消化器内科 3.7	15. 眼科 0.1
5. 神経内科 0.5	16. 耳鼻咽喉科 0.3
6. 皮膚科 0.1	17. 産婦人科 0.4
7. 小児科 1.4	18. リハビリテーション科 0.1
8. 精神科 1.0	19. 放射線科 0.1
9. 外科 5.4	20. 麻酔科 0.3
10. 消化器外科 0.3	21. その他 1.2
11. 泌尿器科 1.0	NA 0.7

Q5. 貴院の処方はどちらですか。（〇は1つ）

1. 院外処方	68.5	2. 院内処方	30.5	NA	1.0
---------	------	---------	------	----	-----

Q6. 貴院が実施している在宅医療に関連した医療系サービスにはどのようなものがありますか。あてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

1. 訪問診療	83.8
2. 往診	88.5
3. 医師による居宅療養管理指導	42.0
4. 院内看護師による訪問看護	15.1
5. 院内リハビリテーション職種による訪問リハ	6.2
6. 医師以外の職種による居宅療養管理指導	2.9
7. その他	1.5
	NA 3.9

Q7. 貴院では、在宅療養支援診療所（以下、在支診）の届出をしていますか。（〇は1つ）

1. 届出あり → SQ1へお進みください	58.2	2. 届出なし → Q8へお進みください	40.6
-----------------------	------	----------------------	------

NA 1.2

SQ1. Q7で「届出あり」とお答え頂いた方は、以下の内容についてご回答ください

n=889

在支診の届出時期：（西暦）	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月頃
在支診の施設基準：（〇は1つ）	1. 機能強化型（単独型）	6.1		
	2. 機能強化型（連携型）	27.0		
	3. 従来型	63.3		
		NA 3.6		

Q8. 貴院での訪問診療の「実施時間帯」について最もあてはまるものを1つだけお選びください。（〇は1つ）

1. 診療時間内の範囲で実施	20.4
2. 診療時間外でも、必要な場合は実施	43.6
3. 24時間の対応	31.2
	NA 4.8

Q9. 過去半年（2016年10月～2017年3月の半年間）の「緊急の往診」および「看取り」の件数についてご回答ください。
n=1,526
なお、該当がない場合は「0」をご記入ください。

緊急の往診

件

看取り

件

Q10. 貴院での訪問診療の「在宅医療の位置付け」について、最もあてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

1. 外来の延長として実施	87.4
2. 在宅中心で実施(外来あり)	7.7
3. 在宅専門で、外来は実施していない	0.5
	N.A 4.5

Q11. 貴院には「併設施設」はありますか。(〇は1つ)

※同一敷地内に限らず、診療所と同じ市区町村に所在する場合は「併設あり」とご回答ください。

1. 併設あり → SQ1へお進みください	20.2	2. 併設なし → Q12へお進みください	78.6
-----------------------	------	-----------------------	------

N.A 1.2

SQ1. Q11で「併設あり」とお答え頂いた方への質問です。

貴院の併設事業等にはどのようなものがありますか。あてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

n=309

1. 居宅介護支援	44.3	13. 地域密着型通所介護	2.9
2. 訪問介護	20.4	14. 夜間対応型訪問介護	0.3
3. 訪問入浴介護	1.6	15. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1.3
4. 訪問リハ	29.1	16. 特定施設入居者生活介護	18.4
5. 訪問看護	37.9	(有料老人ホーム、ケアハウス、グループホームなど)	
6. 通所介護	20.1	17. 特養	5.8
7. 通所リハ	43.7	18. 介護老人保健施設	15.2
8. 短期入所生活介護	7.1	19. 介護療養型医療施設	2.9
9. 短期入所療養介護	10.7	20. 認知症対応型共同生活介護	11.7
10. 小規模多機能型居宅介護	7.8	21. 地域密着型特養	1.6
11. 看護小規模多機能型居宅介護	2.6	22. 病院	6.8
12. 認知症対応型通所介護	5.2	23. 診療所	13.9
		24. その他	8.1

N.A 0.3

次に、在宅診療患者への訪問診療への対応についておうかがいします。

Q12. 下記の①～⑧について、貴院の医師による訪問診療の対応がどの程度可能かどうかあてはまるものを1つずつお選びください。(〇は1つずつ)
 また、「2. 条件付きで対応可能である」をお選びになった方はSQに進み、a～g、xの中であてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

		1 2 3 無回答				SQ【2を選んだ方への質問】																	
		通常、対応可能である				条件付きで、対応可能である				対応できない				無回答	対応可能な条件についてあてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)								
															a	b	c	d	e	f	g	x	無回答
															患者数に余力があること	患者に介護者がいる	必要な知識や技術に関する研修の受講	地域にレスパイト機能がある	緊急時に対応してもらえる病院がある	連携できる在宅医がいる	連携できる訪問看護師がいる	その他	無回答
成人	①認知症 ⇒	53.4	31.8	12.4	2.4	28.0	77.2	6.8	17.7	60.3	11.7	51.4	3.9	0.8									
	②呼吸器疾患 (慢性呼吸器不全等) ⇒	45.7	35.1	16.2	3.0	25.7	57.5	10.1	16.2	81.3	11.4	53.4	4.7	0.2									
	③重度心身障害 (脳挫傷・脊椎損傷等) ⇒	26.3	29.2	40.2	4.3	28.7	62.8	11.0	25.1	74.4	9.4	59.2	5.2	0.9									
	④末期がん ⇒	37.1	36.9	22.9	3.2	27.9	61.8	10.1	14.9	75.7	13.3	62.9	4.4	1.1									
	⑤特定疾患 (難病) ⇒	26.9	38.6	30.3	4.2	25.3	52.3	18.7	19.9	75.4	13.1	53.7	6.3	1.4									
小児	⑥就学前児童 (0～6歳未満) ⇒	7.1	13.2	74.1	5.6	25.2	55.9	22.3	26.2	78.2	14.9	46.0	6.9	1.0									
	⑦学齢期 (6～15歳未満) ⇒	11.2	18.5	64.9	5.4	22.7	57.8	22.0	26.2	75.2	15.2	48.9	8.5	1.8									
	⑧成人への移行期 (15～20歳未満) ⇒	19.7	24.5	50.4	5.4	28.9	59.1	19.3	23.5	76.2	14.2	51.6	6.7	3.2									

Q13. 下記の①～⑪の医学管理のケースについて、貴院の医師による訪問診療の対応がどの程度可能かどうか、あてはまるものを1つずつお選びください。（〇は1つずつ）

また、「2. 条件付きで対応可能である」をお選びになった方はSQに進み、a～h、xの中であてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

		1 2 3 (%)				SQ【2を選んだ方への質問】									
		1 通常、 対応可能である	2 条件付きで、 対応可能である	3 対応できない	無回答	対応可能な条件についてあてはまるものをお選びください。 (〇はいくつでも)									
						a 患者数に余力があること	b 患者に介護者がいる	c 必要な知識や技術に関する研修の受講	d 地域にレスパイト機能がある	e 緊急時に対応してもらえる病院がある	f 連携できる在宅医がいる	g 連携できる訪問看護師がいる	h 患者が成人である（20歳未満は困難）	x その他	無回答
医学管理	①在宅酸素 ⇒	65.5	19.7	12.2	2.6	27.2	67.4	7.3	15.9	72.8	14.0	52.5	35.9	2.0	1.7
	②人工呼吸器管理 ⇒	23.1	23.2	49.7	4.0	23.4	59.0	16.7	22.3	78.0	13.6	61.6	26.3	2.8	0.8
	③気管切開 ⇒	29.7	23.6	42.8	3.9	25.8	64.2	12.8	18.9	74.2	10.8	66.1	31.1	2.2	1.9
	④中心静脈栄養 ⇒	29.3	26.0	40.3	4.4	23.4	56.2	10.3	14.9	69.3	10.1	70.0	27.2	2.3	0.8
	⑤腹膜透析 ⇒	6.0	13.6	75.4	5.1	15.9	41.5	34.3	15.9	76.3	10.1	55.1	16.4	3.4	1.9
	⑥経管栄養 ⇒	41.8	29.0	25.4	3.7	23.5	68.2	9.3	13.5	66.8	10.6	70.7	30.0	2.3	0.7
	⑦胃ろう ⇒	43.0	28.1	25.7	3.3	22.6	66.9	8.4	13.1	72.7	11.2	68.3	30.3	2.8	0.5
	⑧褥そう等 難治性皮膚疾患 ⇒	35.9	33.9	26.1	4.2	21.7	54.7	9.5	9.9	56.1	16.2	70.8	25.7	3.7	1.4
	⑨導尿 ⇒	46.0	27.2	23.4	3.3	22.6	54.6	6.7	9.4	55.8	14.9	69.7	25.7	3.4	1.9
	⑩疼痛管理 ⇒	41.8	30.1	24.3	3.8	22.7	53.6	13.9	13.1	69.1	15.7	60.8	26.1	2.6	2.4
	⑪自己注射 ⇒	52.7	27.2	16.6	3.5	24.1	61.9	11.1	11.6	56.1	13.0	57.8	27.2	2.2	3.6

2016年10月時点の実績をご記入ください。

Q14. 2016年10月現在の、在宅医療（訪問診療・往診）を行っている医師数を実人数でご回答ください。
 なお、該当者がいない場合は「0」をご記入ください。

n=1,259

常勤	<input type="text" value="1.2"/>	人	→ 1人以上は SQ1へ	非常勤	<input type="text" value="0.4"/>	人	→ 1人以上は SQ2へ
----	----------------------------------	---	-----------------	-----	----------------------------------	---	-----------------

SQ1. 「常勤医師」について、男女別・年代の実人数をご記入ください。
 なお、該当者がいない場合は「0」をご記入ください。

n=1,259

常勤医師	男女別	年代					
	男性	20歳代	<input type="text" value="0.01"/>	30歳代	<input type="text" value="0.05"/>	40歳代	<input type="text" value="0.1"/>
50歳代		<input type="text" value="0.3"/>	60歳代	<input type="text" value="0.4"/>	70歳以上	<input type="text" value="0.2"/>	
女性		20歳代	<input type="text" value="0.001"/>	30歳代	<input type="text" value="0.02"/>	40歳代	<input type="text" value="0.03"/>
		50歳代	<input type="text" value="0.04"/>	60歳代	<input type="text" value="0.03"/>	70歳以上	<input type="text" value="0.01"/>
		不明 0.01人					

SQ2. 「非常勤医師」について、男女別・年代の実人数をご記入ください。
 なお、該当者がいない場合は「0」をご記入ください。

n=1,259

非常勤医師	男女別	年代				
	男性	20歳代	<input type="text" value="0.01"/>	30歳代	<input type="text" value="0.1"/>	40歳代
50歳代		<input type="text" value="0.1"/>	60歳代	<input type="text" value="0.04"/>	70歳以上	<input type="text" value="0.02"/>
女性		20歳代	<input type="text" value="0.004"/>	30歳代	<input type="text" value="0.05"/>	40歳代
	50歳代	<input type="text" value="0.02"/>	60歳代	<input type="text" value="0.01"/>	70歳以上	<input type="text" value="0.01"/>
	不明 0.01人					

Q15. 在宅医療に従事する「非常勤医師」の業務内容についておうかがいします。

① 以下のうち、貴院で在宅医療に従事する「非常勤医師」の業務内容にもっとも近いものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

n=232	1. 外来中心	48.7	3. 在宅医療中心	19.8
	2. 外来・在宅医療が半々	19.4	4. 在宅医療専従	9.1
				NA 3.0

② 従事している在宅医療の具体的な業務内容としてあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

n=232	1. 夜間・時間外の訪問診療・往診	25.4	4. オンコール待機	23.3
	2. 担当制による在宅患者の訪問診療・往診	50.9	5. その他	4.7
	3. 常勤医師が不在時の訪問診療・往診	36.6	NA 10.8	

Q16. 在宅患者への往診や訪問診療にかかる移動範囲(距離)と移動時間についてご記入ください。

診療所から最も遠い患者との移動距離および所要時間		n=1,176
約	<input type="text" value="7.7"/> km	※1km未満は切り上げ
約	<input type="text" value="20.6"/> 分	※単位は分

※距離の記入がなかった93施設および所要時間記入がなかった83施設は集計から除外した

Q17. 在宅患者への往診や訪問診療をするための「主な移動手段」について、あてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

n=1,259	1. 自動車	88.6	4. 公共交通機関(電車・バスなど)	1.6
	2. バイク(原付含む)	2.5	5. 徒歩	22.5
	3. 自転車	14.5	6. その他	1.0
				NA 4.4

「在宅療養患者」の状況についておうかがいします。(2016年10月の状況)

2016年10月時点の実績をご記入ください。

Q18. 貴院における「在宅療養患者」の総件数等の実績についてご回答ください。なお、該当がない場合は「0」をご記入ください。

総件数および当該訪問回数等(2016年10月分の実績)				
n=1,259	在宅療養患者 総件数	<input type="text" value="32.4"/> 件	→	当該訪問回数 <input type="text" value="67.2"/> 回
	再掲			n=1,229
n=1,259	うち 自宅以外(施設等)	<input type="text" value="15.8"/> 件	→	当該訪問回数 <input type="text" value="30.3"/> 回
				n=1,235
n=1,256	うち 認知症日常生活自立度Ⅲ以上(認知症に対する介護が必要な状況)	<input type="text" value="10.3"/> 件		
n=1,257	うち 末期のがん	<input type="text" value="1.2"/> 件		
n=1,257	うち もともと自院の患者で、外来から在宅に移行した方	<input type="text" value="5.4"/> 件		

SQ1. Q18の「在宅療養患者総件数」のうち、「非常勤医師」が訪問した件数をご回答ください。なお、該当しない場合は「0」をご記入ください。

n=232	非常勤医師が担当したのは	<input type="text" value="21.8"/> 件
-------	--------------	-------------------------------------

引き続き、「在宅療養患者」（2016年10月の実績）の状況についておうかがいします。

Q19. 「Q18の在宅療養患者総件数」について、「男女別」の件数をご記入ください。
 なお、該当者がいない場合は「0」をご記入ください。

n=1,259

男性	10.4	件	女性	20.9	件	NA	1.1件
----	------	---	----	------	---	----	------

Q20. 「Q18の在宅療養患者総件数」について、「年齢別」の件数をご記入ください。
 なお、該当者がいない場合は「0」をご記入ください。

n=1,259

0~5歳	0.2	件	40~64歳	1.1	件
6~14歳	0.2	件	65~74歳	3.3	件
15~19歳	0.1	件	75~89歳	16.3	件
20~39歳	0.2	件	90歳以上	9.0	件
NA 2.0件					

Q21. 「Q18の在宅療養患者総件数」について、「世帯状況別」の件数をご記入ください。
 なお、該当者がいない場合は「0」をご記入ください。

<p>n=1,259</p> <p>①单身</p> <p>6.8 件</p> <p>▼</p> <p>n=743</p> <p>単身のうち 比較的近い地域※ に介護者がいない方</p> <p>2.7 件</p> <p>※緊急時に、約1時間以内にかかけつけられる範囲</p>	<p>n=1,259</p> <p>②同居</p> <p>14.4 件</p> <p>▼</p> <p>n=1,104</p> <p>同居のうち 日中独居</p> <p>n=1,104</p> <p>同居のうち 介護者も 要支援・要介護</p> <p>2.6 件</p> <p>1.3 件</p>
--	--

NA 11.1件

Q22. 「Q18の在宅療養患者総件数」について、「介護度別」の件数をご記入ください。
 なお、該当者がいない場合は「0」をご記入ください。

n=1,259

要介護5	5.5	件	要介護2	5.2	件	非該当	1.9	件
要介護4	5.7	件	要介護1	3.8	件			
要介護3	5.9	件	要支援1・2	1.5	件			
NA 2.9件								

引き続き、「在宅療養患者」（2016年10月の実績）の状況についておうかがいします。

Q23. 以下の医学的管理・処置別に、患者件数をご記入ください。

患者1件あたり複数の管理・処置がある場合は、項目ごとに計上してください。
また、患者数が0件の場合は「0」をご記入ください。

n=1, 257

医学的管理・処置別件数					
① 在宅酸素 (実績あり621施設：20歳未満実績あり22施設)	4.0	件	うち 20歳未満	0.5	件
② 人工呼吸器管理 (実績あり174施設：20歳未満実績あり23施設)	3.4	件	うち 20歳未満	1.4	件
③ 気管切開 (実績あり227施設：20歳未満実績あり22施設)	3.1	件	うち 20歳未満	1.1	件
④ 中心静脈栄養 (実績あり155施設：20歳未満実績あり5施設)	1.8	件	うち 20歳未満	0.1	件
⑤ 腹膜透析 (実績あり6施設：20歳未満実績あり0施設)	1.2	件	うち 20歳未満	-	件
⑥ 経管栄養 (実績あり266施設：20歳未満実績あり22施設)	4.0	件	うち 20歳未満	1.1	件
⑦ 胃ろう (実績あり496施設：20歳未満実績あり28施設)	3.5	件	うち 20歳未満	0.4	件
⑧ 褥そう等難治性皮膚疾患 (実績あり374施設：20歳未満実績あり8施設)	2.5	件	うち 20歳未満	0.03	件
⑨ 導尿 (実績あり416施設：20歳未満実績あり9施設)	2.7	件	うち 20歳未満	0.1	件
⑩ 疼痛管理 (実績あり263施設：20歳未満実績あり5施設)	3.4	件	うち 20歳未満	0.1	件
⑪ 自己注射 (実績あり362施設：20歳未満実績あり7施設)	3.5	件	うち 20歳未満	0.02	件

最後に、自宅での在宅療養の「事例」についておうかがいたします。

自宅での長期の在宅療養が困難となった「単独世帯」の事例がありましたら、過去3年以内を目安に任意で最大2例までご回答ください。

単独世帯 (n=485)

◆事例1◆

◆事例2◆

■性別 (〇は1つ)	1. 男性 44.9	2. 女性 54.4	1. 男性	2. 女性
■年齢・在宅療養期間 (数値を記入)	83.7 歳	在宅療養期間 3 年 1 ヶ月	歳	在宅療養期間 年 ヶ月
■経緯 (〇は1つ)	1. 病院からの紹介 34.8	2. もともと自院の患者であった 47.2	3. その他 15.5	1. 病院からの紹介
■生活機能低下の原因となった主な傷病 (自由記入)	認知症 32.0	心疾患 11.1	呼吸器疾患 14.6	循環器系疾患 0.8
	がん 15.9	糖尿病 5.6	特定疾患 5.2	筋・骨格系疾患 16.9
	脳・脳血管疾患 15.5	機能低下 12.2	脳・脳血管疾患 15.5	機能低下 12.2
	消化器系・腹部疾患 11.8	精神疾患 2.1	消化器系・腹部疾患 11.8	精神疾患 2.1
■認知症日常生活自立度 (〇は1つ)	1. 自立 20.6	4. IIb 12.8	7.IV 6.8	1. 自立
	2. I 14.4	5. IIIa 16.9	8.M 1.6	4. IIb
	3. IIa 14.0	6. IIIb 7.8		7.IV
■要介護度 (〇は1つ)	1. 非該当 3.9	4. 要介護3 24.3	7. 要支援1・2 6.8	1. 自立
	2. 要介護5 12.0	5. 要介護2 20.6		4. IIb
	3. 要介護4 15.3	6. 要介護1 11.8		7. I
■訪問診療回数 (〇は1つ)	1. 週1回以上 22.1	3. 月1回以下 17.1	2. 月2回 52.6	5. IIIa
	2. 月2回 52.6	4. 不定期 5.8		8.M
■在宅療養が限界になった理由 (自由記入)	疾患 31.2		状態 59.0	3. IIa
	日常生活 33.9		介護者 26.2	6. IIIb
	その他 4.5			
■転帰 (〇は1つ)	1. 入所 47.0		2. 入院 42.7	1. 自立
	2. 入院 42.7		3. 同居 2.9	4. IIb
■利用介護サービス (〇はいくつでも)	1. 訪問看護 57.5		2. その他の訪問系サービス 24.7	7. I
	2. その他の訪問系サービス 24.7		3. 短期入所 16.9	5. IIIa
	3. 短期入所 16.9		4. 訪問介護 48.5	8.M
	4. 訪問介護 48.5		5. 通所系サービス 32.0	3. IIa
	5. 通所系サービス 32.0		6. その他 7.4	6. IIIb
	6. その他 7.4			

自宅での長期の在宅療養が困難となった「同居世帯」の事例がありましたら、過去3年以内を目安に任意で最大2例までご回答ください。事例がない場合は、アンケートは終了となります。

同居世帯 (n=571)

◆事例1◆

◆事例2◆

■性別 (○は1つ)	1. 男性 39.6	2. 女性 59.9	NA 0.5	1. 男性	2. 女性												
■年齢・在宅療養期間 (数値を記入)	84.7 歳	在宅療養期間	3 年 4 ヶ月	歳	在宅療養期間	年	ヶ月										
■経緯 (○は1つ)	1. 病院からの紹介 37.5 2. もともと自院の患者であった 50.6 3. その他 11.0			1. 病院からの紹介 2. もともと自院の患者であった 3. その他													
■生活機能低下の原因となった主な傷病 (自由記入)	認知症 28.4	心疾患 9.6	呼吸器疾患 12.8	循環器系疾患 0.4	がん 13.7	糖尿病 3.0	特定疾患 8.2	筋・骨格系疾患 18.0	脳・脳血管疾患 24.0	機能低下 15.9	消化器系・腹部疾患 8.2	精神疾患 1.9					
■認知症日常生活自立度 (○は1つ)	1. 自立 14.2	4. IIb 12.3	7. IV 15.1	2. I 12.6	5. IIIa 16.1	8. M 5.3	3. IIa 9.6	6. IIIb 11.4	NA 3.5	1. 自立	4. IIb	7. IV	2. I	5. IIIa	8. M	3. IIa	6. IIIb
■要介護度 (○は1つ)	1. 非該当 2.1	4. 要介護3 17.5	7. 要支援1・2 2.6	2. 要介護5 32.2	5. 要介護2 14.0	3. 要介護4 21.2	6. 要介護1 7.0	NA 3.3	1. 非該当	4. 要介護3	7. 要支援1・2	2. 要介護5	5. 要介護2	3. 要介護4	6. 要介護1		
■訪問診療回数 (○は1つ)	1. 週1回以上 17.2	3. 月1回以下 18.0	2. 月2回 57.1	4. 不定期 5.3	1. 週1回以上	3. 月1回以下	2. 月2回	4. 不定期	NA 2.5	疾患 32.0	状態 53.3	日常生活 13.6	介護者 58.9	その他 2.1			
■在宅療養が限界になった理由 (自由記入)	疾患 32.0	状態 53.3	日常生活 13.6	介護者 58.9	その他 2.1												
■転帰 (○は1つ)	1. 入所 45.4	2. 入院 47.5	3. 他の家族と同居 3.9	NA 3.3	1. 入所	2. 入院	3. 同居										
■利用介護サービス (○はいくつでも)	1. 訪問看護 61.5	2. その他の訪問系サービス 20.5	3. 短期入所 32.7	4. 訪問介護 36.1	5. 通所系サービス 38.4	6. その他 4.0	NA 10.2	1. 訪問看護	2. その他の訪問系サービス	3. 短期入所	4. 訪問介護	5. 通所系サービス	6. その他				

一質問は以上です。お忙しいところアンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。-